

Enterprise Analyzer の使用準備

インストール 編

1 目的

本文書では、Enterprise Analyzer の導入方法について説明を行います。製品の具体的な使用方法は、チュートリアルに記載がありますのでそちらを参照してください。

2 前提

- 2.1 本文書で使用した OS : Windows Server 2022 Standard Edition

3 インストール手順の概要

- 3.1 インストールの準備
- 3.2 インストーラーの実行
- 3.3 ライセンスの適用
- 3.4 インストール後の追加作業
- 3.5 Hotfix の適用

3.1 インストールの準備

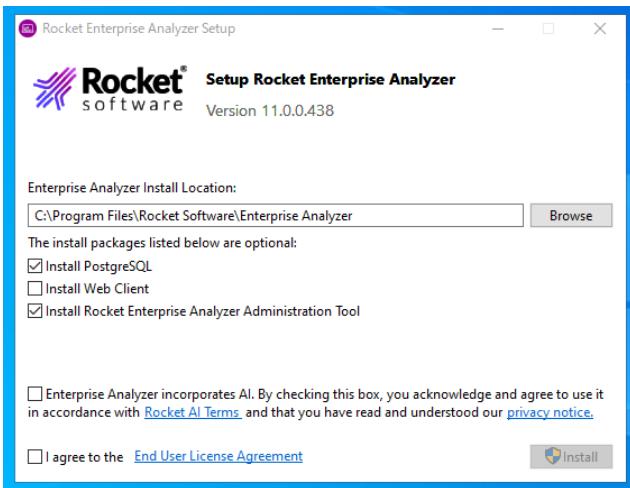
インストール時には、一時的にユーザーアカウント制御(UAC)を無効にしてください。

- 3.1.1 製品インストールファイルは、ZIP 形式になっていますので任意のフォルダに解凍します。

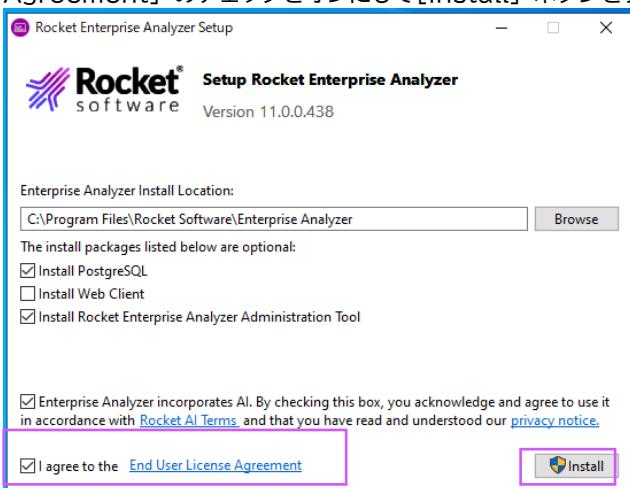
3.2 インストーラーの実行

- 3.2.1 [EnterpriseAnalyzerXXX.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。「XXX」はバージョン番号です。例:11.0 の場合、EnterpriseAnalyzer110.exe

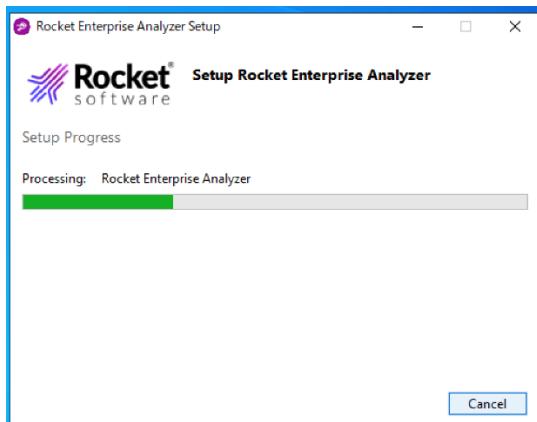
- 3.2.2 下記の画面のオプションが選択されています。もし既に用意されているデータベースを利用する場合、「Install PostgreSQL」のチェックを外してください。



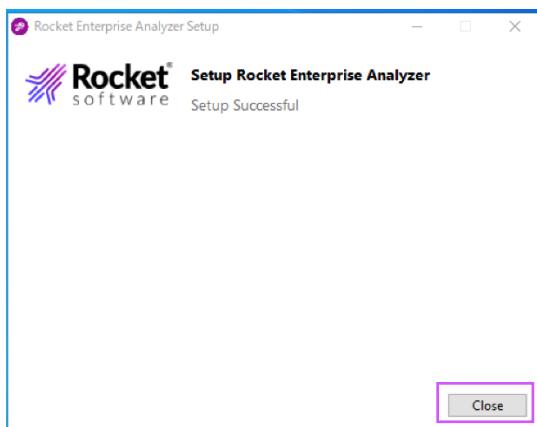
- 3.2.3 [Enterprise Analyzer incorporates AI. By …以降省略]と[I agree to the End User License Agreement] のチェックをオンにして[install] ボタンをクリックします。



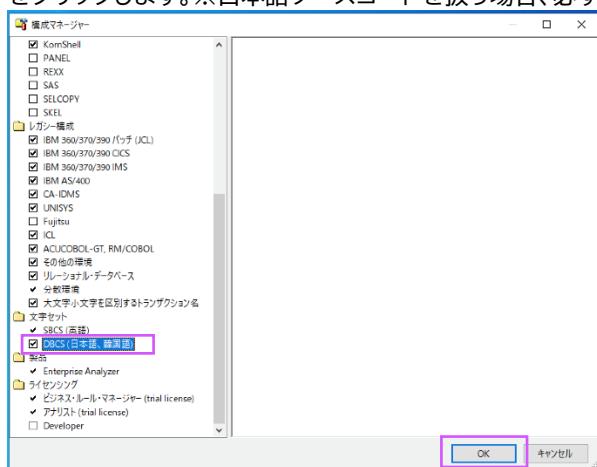
- 3.2.4 インストールが進行しますので、しばらく待ちます。途中、OS の再起動を促すダイアログが出た場合は、それに従い、OS を再起動してください。その場合、再度ライセンス許諾の画面が出るのでチェックをオンにして[install] ボタンをクリックします。



3.2.5 [Setup Successful] セットアップ完了です。次に[Close] ボタンをクリックします。



3.2.6 セットアップ完了後、[構成マネージャー]が表示されます。[構成マネージャー]ウィンドウで使用する言語や構成、文字セットの項目を変更できます。今回は、[DBCS(日本語、韓国語)]の項目のチェックをオンにして、[OK] ボタンをクリックします。※日本語ソースコードを扱う場合、必ず DBCS のチェックをオンにしてください。



3.3 ライセンスの適用

Enterprise Analyzer のライセンスを適用します。ライセンスマネージャーは製品と一緒にインストールされています。ライセンスの種類やライセンスマネージャーの詳細の使用方法は、FAQ の「[COBOL/エンタープライズ製品ライセンス 適用管理ガイド](#)」を参照してください。

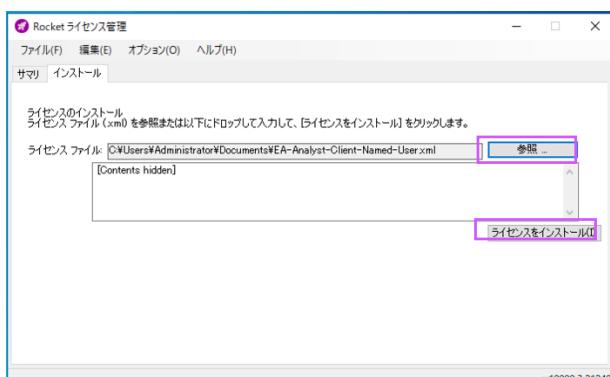
3.3.1 [Rocket License Manager] メニューから[ライセンス管理システムを選択します。



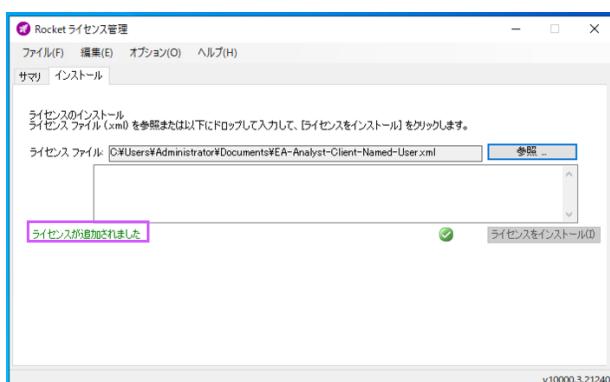
3.3.2 [インストール]タブをクリックします。



3.3.3 [参照]ボタンをクリックして、任意の場所にあるライセンスファイル指定します。次に[ライセンスをインストール]ボタンをクリックします。



3.3.4 [ライセンスが追加されました]とメッセージが左下に表示されます。

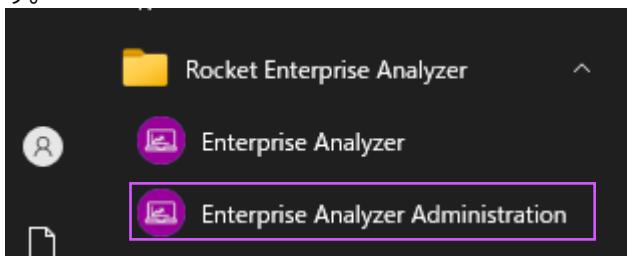


3.3.5 [サマリー]タブをクリックし、適用したライセンスを確認します。

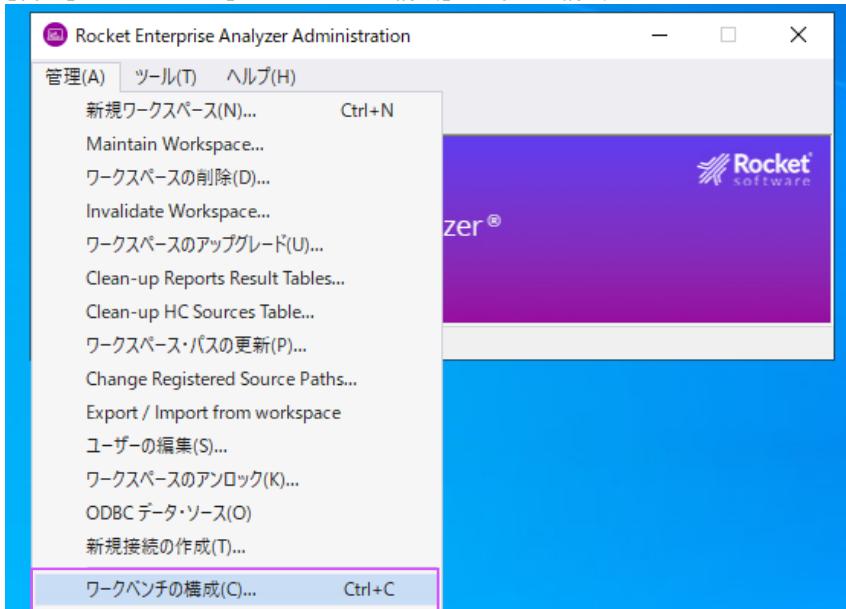


3.4 インストール後の追加作業

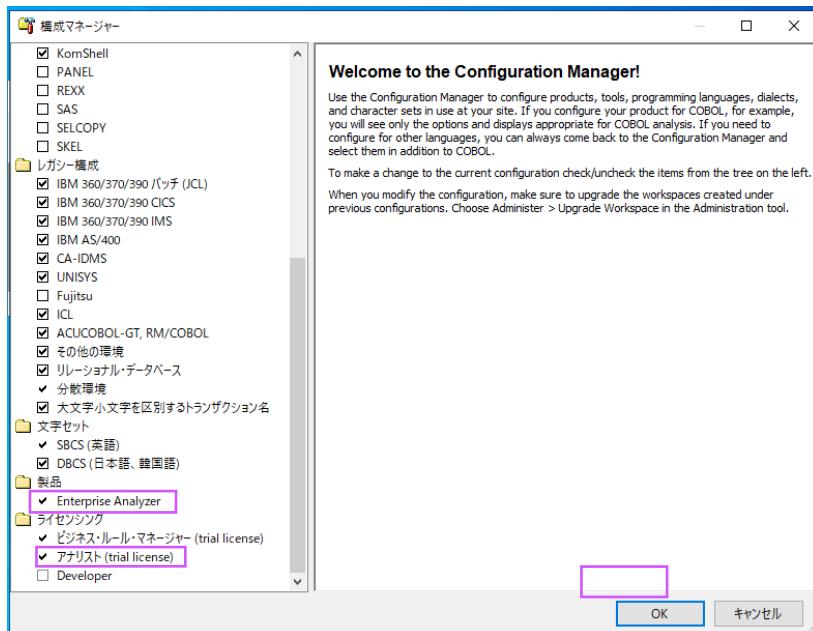
- 3.4.1 [Rocket Enterprise Analyzer] メニューから[Enterprise Analyzer Administration]を呼び出します。



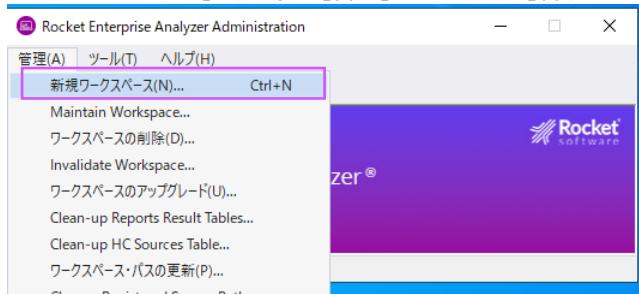
- 3.4.2 [管理]メニューより、[ワークベンチの構成]を選択し、構成マネージャーウィンドウを表示します。



- 3.4.3 [構成マネージャー]ウィンドウで[Enterprise Analyzer]と[アナリスト]にチェックが入っていることを確認して[OK]ボタンをクリックします。



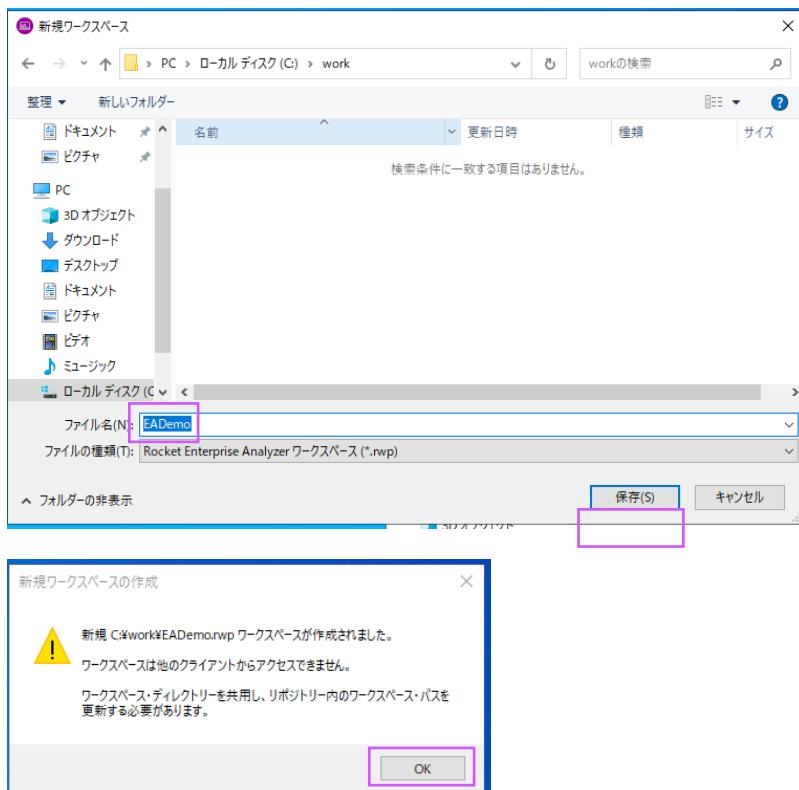
3.4.4 ワークスペースを作成します。Enterprise Analyzer メニューから[Enterprise Analyzer Administration]を起動し、[管理]メニューから[新規ワークスペース]を選択します。



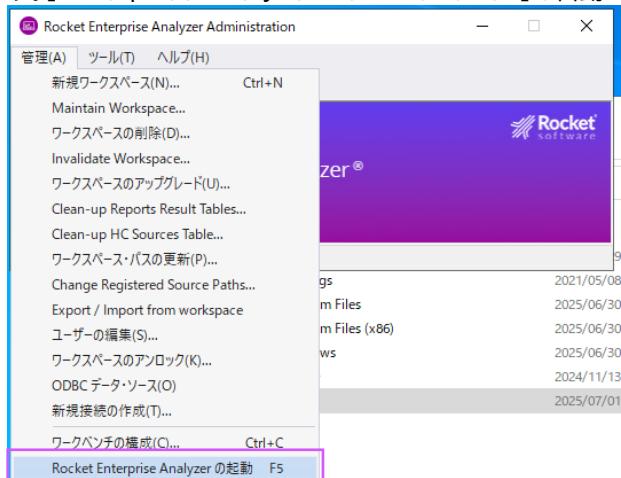
3.4.5 セットアップ済みのデータベースを指定します。評価版でインストールした場合、そのまま[PostgreSQL simple]を選択して[OK]ボタンをクリックします。



3.4.6 ワークスペースの名前、ディレクトリ名を指定して[保存]ボタンを押すとワークスペースが作成されます。作成が完了するとその旨のポップアップウィンドウが表示されるので[OK]ボタンをクリックしてください。



3.4.7 [管理]メニューより、[Rocket Enterprise Analyzer の起動]を選択し、Enterprise Analyzer を起動します。[Enterprise Analyzer Administration]は自動でクローズされます。



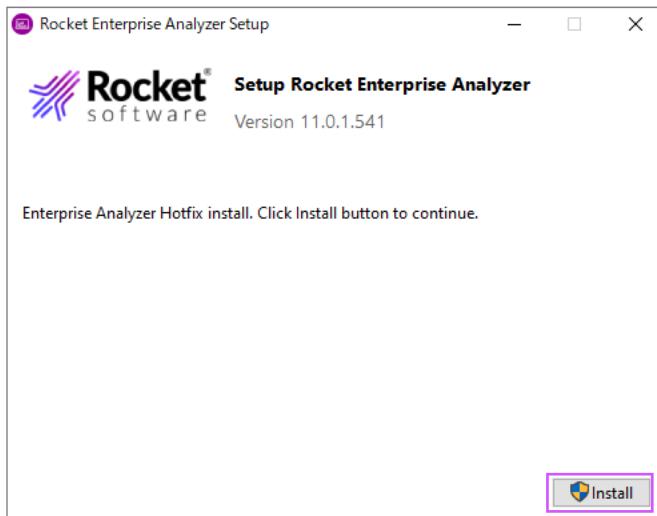
3.4.8 解析したいソースコードをインポートしてください。詳細の使用方法は、ヘルプをご覧いただくなチュートリアルを参照してください。

3.5 Hotfix の適用

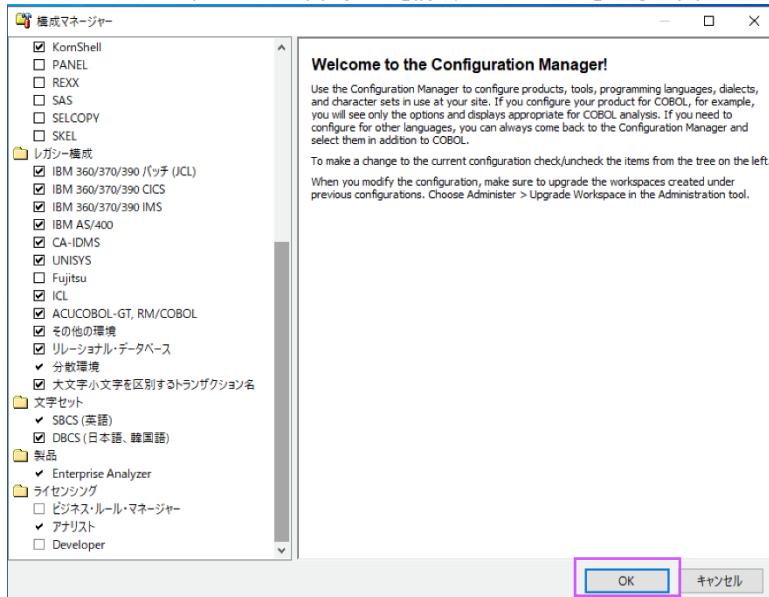
製品の改修を含む Hotfix を入手した際には、下記の手順で適用します。

- 3.5.1 入手した Hotfix の ZIP ファイルを任意のフォルダに解凍し、中に含まれている EXE ファイルを右クリックしてコンテキストメニューから [管理者として実行] を選択します。

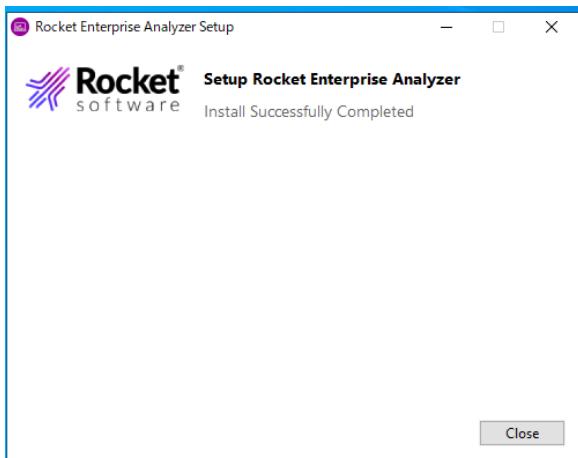
- 3.5.2 セットアップウィンドウが表示されますので、[Install] ボタンをクリックします。



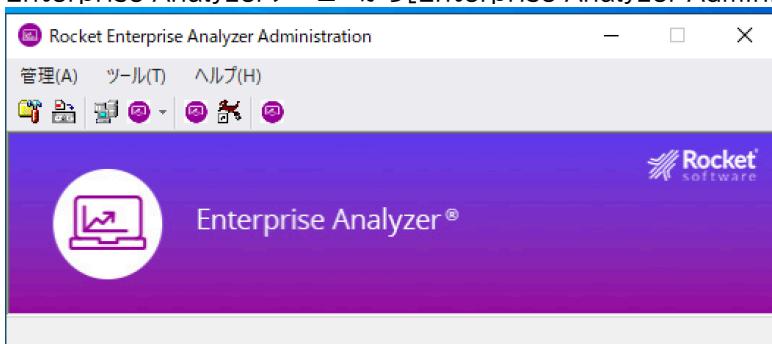
- 3.5.3 Hotfix の適用が終わったら自動的に [構成マネージャー] が呼び出されますので [OK] ボタンをクリックします。



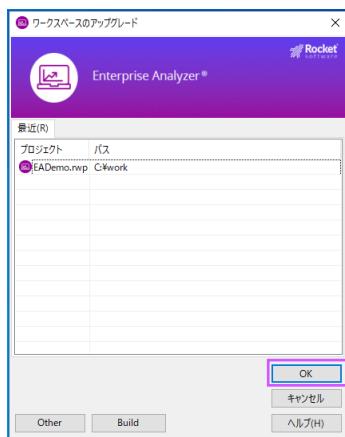
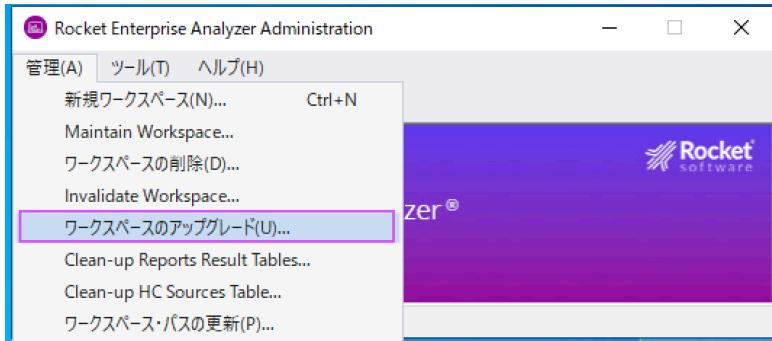
- 3.5.4 Hotfix の適用が終わった旨の画面が表示されますので、[Close] ボタンをクリックして終了してください。



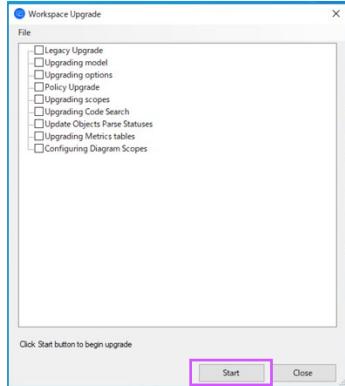
3.5.5 Enterprise Analyzer メニューから[Enterprise Analyzer Administration]を呼び出します。



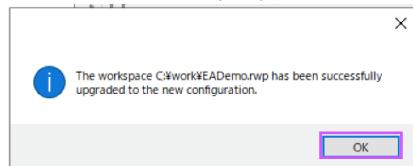
3.5.6 [管理]メニューより、[ワークスペースのアップグレード]を選択し、対象となるワークスペースを選択して[OK]ボタンをクリックします。



3.5.7 [Workspace Upgrade]の画面が表示されるので[Start]ボタンをクリックします。



3.5.8 アップグレードが正常に終了するとポップアップが表示されるので[OK]ボタンをクリックします。



3.5.9 [管理]メニューから、[Rocket Enterprise Analyzer の起動]を選択して Enterprise Analyzer を起動します。

※Hotfix を適用した場合、必ずワークスペースのアップグレードを行ってください。